

日刊

産業新聞

Japan Metal Bulletin

手すり先行工法の義務化

民主党が検討へ

内容の一刻も早い省令化を求める講演を行うなど、義務化要請への動きが強まっていた。

民主党は12日に開催された衆議院予算委員会の席上、国土交通省などが発注する公共工事で実施されている「手すり先行工法」に基づく働きやすい安心感のある足場の義務化に関する答弁が交わされたことを受け、同工法の義務化を今後検討する方針を示した。

川内博史・民主党衆議院議員が手すり先行工法義務化の必要性について質問したことを受け、細川律夫厚生労働大臣は「各業界からも手すり先行工法の義

務化を要望されている。現段階では安全衛生部長通達にとどまっているがこれを検討したい」と答弁。川内議員は「手すり先行工法の義務化をぜひ要請したい」と語った。

直近では、全国仮設安全事業協同組合（アークセス、理事長＝小野辰雄・日綜産業社長）協力の下、衆議院第二議員会館で7日、足場墜落災害に関する勉強会が開催された。小野理事長は、参加した16人の民主党議員を前に、安全衛生部長通達